

一瞬にして、町が村が濁流に飲まれた

# 平成7年7・11水害

被害状況調査レポート



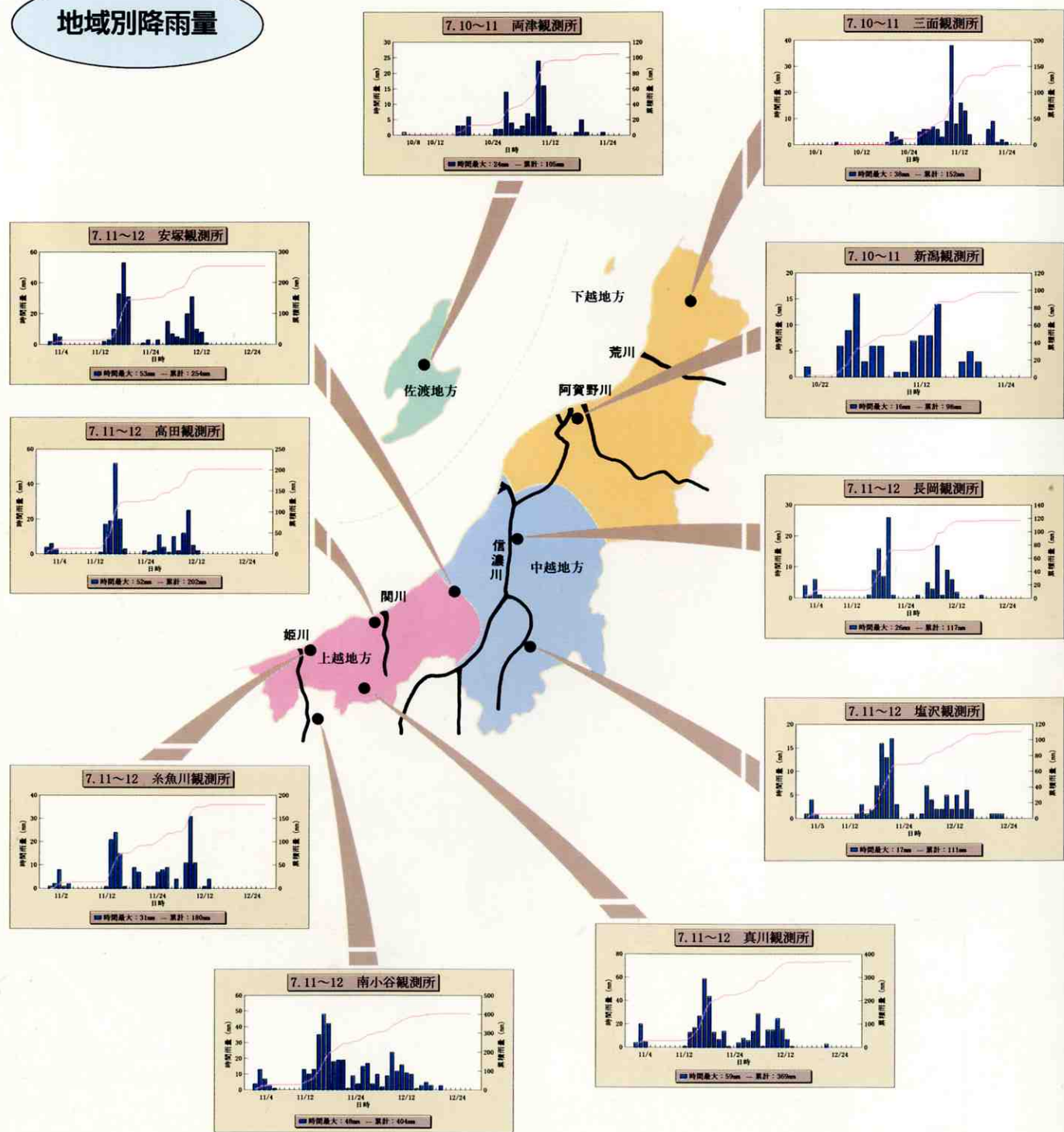
平成7年7月  
新潟県土木部

# 活かせ教訓、めざせ水防強化

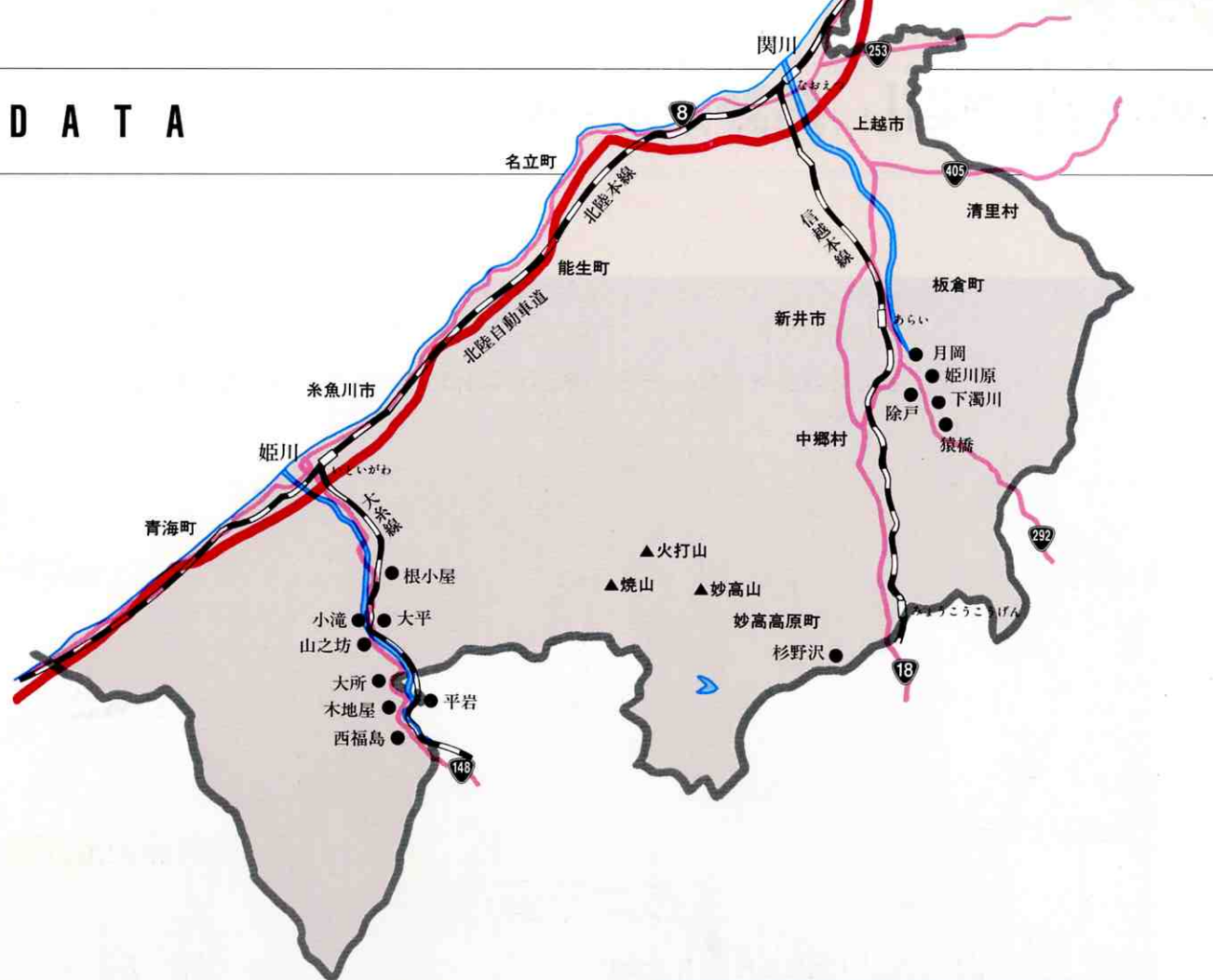
平成7年7月11日(火)、新潟県内は折から停滞していた梅雨前線の活動が活発化し、豪雨に見舞われました。特に上越地方の姫川、関川流域の被害は甚大で、家屋の倒壊、道路や鉄道の崩落など各所にその爪跡を残しました。

この報告書は被害の状況を、データを写真により克明にまとめたものです。この水害での教訓を活かし、今後の水防対策強化の資料としてご活用いただければ幸いです。

## 地域別降雨量

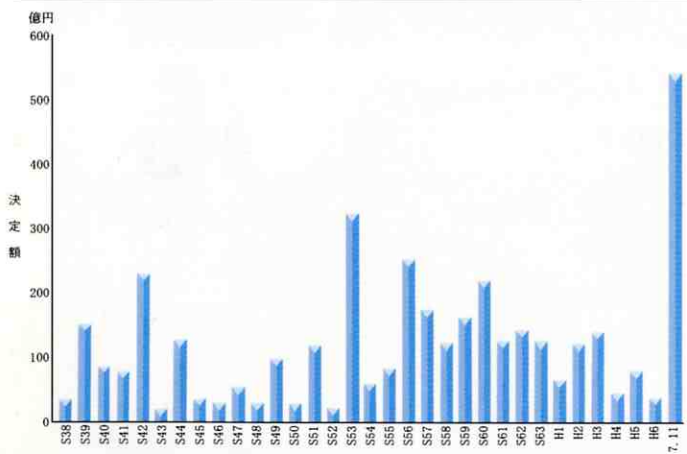


## DATA



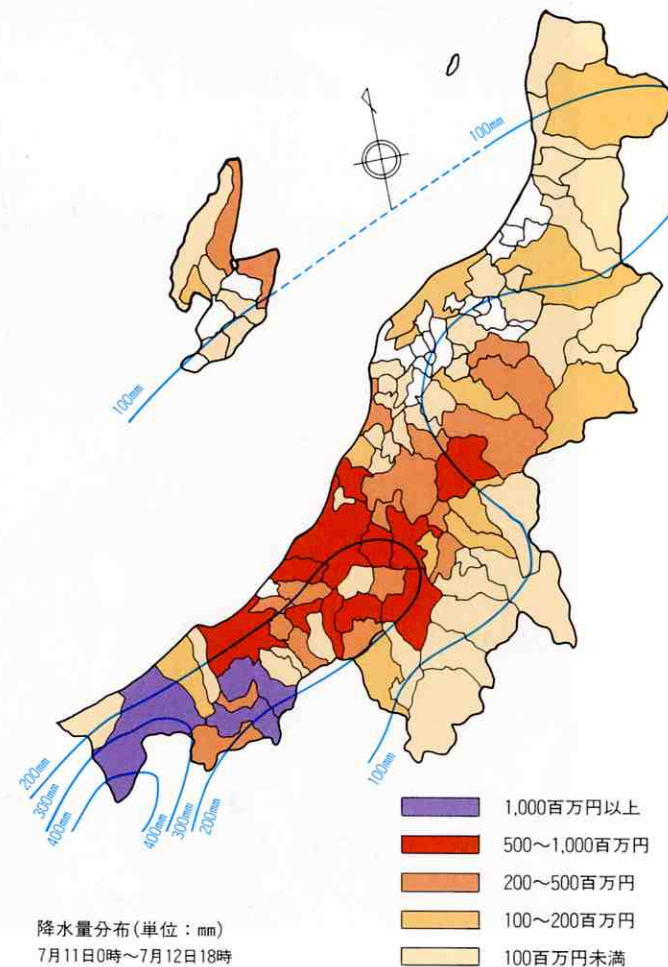
## 公共土木施設災害被害額と降水量分布

### 公共土木施設災害推移



### 人身・住宅・非住宅の被害状況

人身被害	死者	1名
	行方不明	1名
	重傷	1名
	軽傷	3名
住宅	全壊	24棟
	半壊	15棟
	一部破損	15棟
	床上浸水	723棟
非住宅	床下浸水	3,417棟
	床上浸水	134棟
	床下浸水	2,026棟



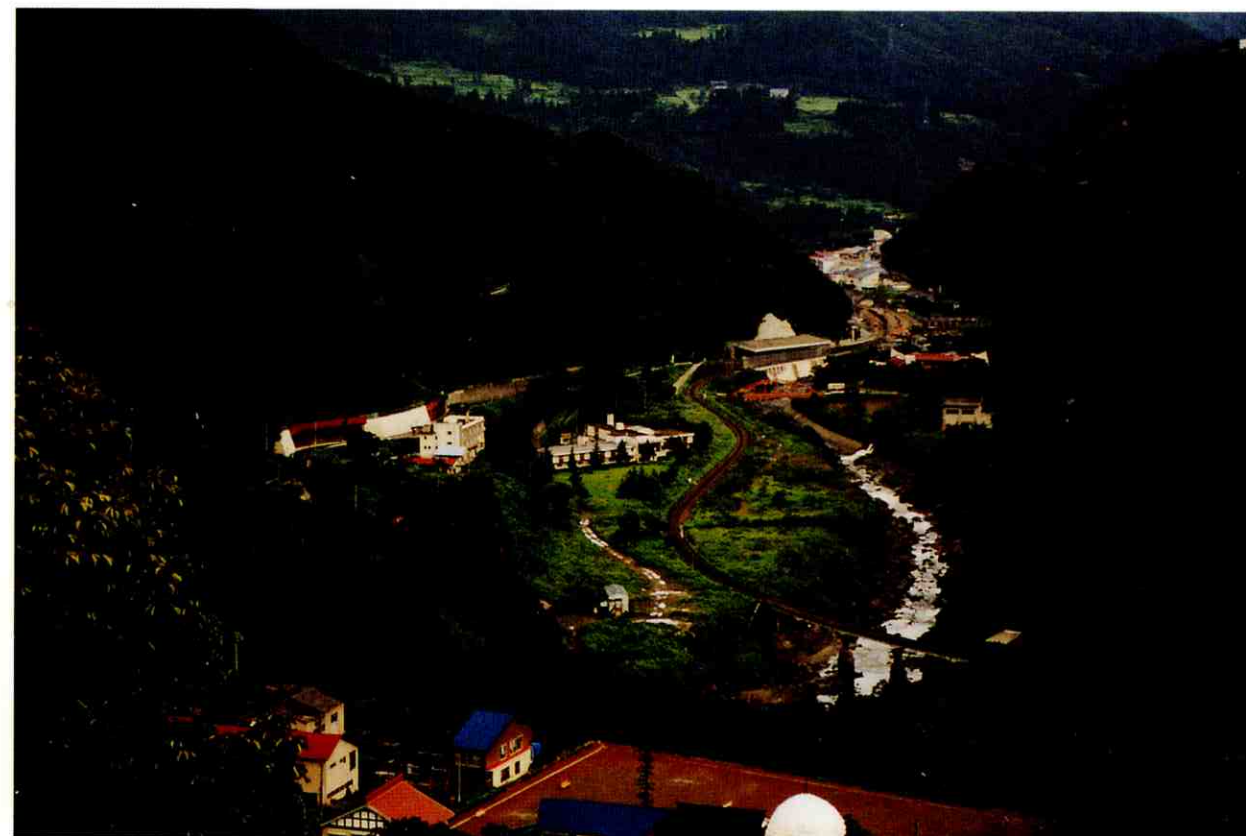
# 姫川 長野県境付近



土石流により流失した国道148号の新国堺橋(糸魚川市蒲原)



河道が埋まりホテルの敷地まで氾濫した。橋梁はそのままの位置で土砂に埋まった(糸魚川市平岩)



白馬大仏付近より姫川を望む(S.62.8.26)



白馬大仏付近より姫川を望む(H.7.7.13)(糸魚川市蒲原)

# 姫川 平岩地区



流失したJR大糸線、堤防、宅地(糸魚川市平岩)



姫川を濁流が流れる(糸魚川市平岩)

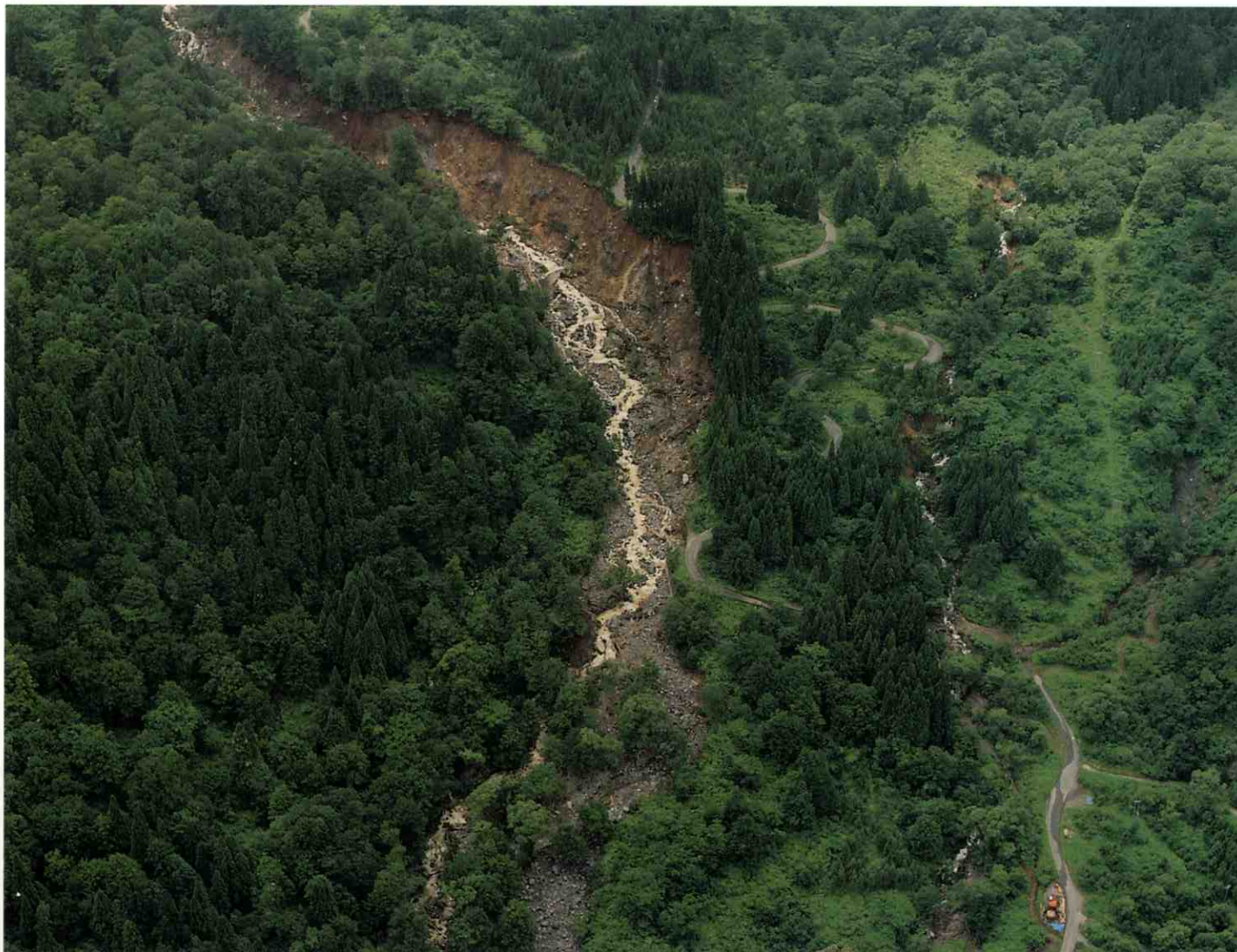


山之坊地すべりの末端部に発生した地すべりは路面の崩壊が次第に拡大し、通行不能となった国道148号と県道山之坊大峰小滝線(糸魚川市平岩)



姫川左支川大所川を流下する土石流(糸魚川市平岩)

# 姫川流域 土石流災害の発生した大所地区



木地屋川に発生した土石流の発生区。崩壊土砂量は約15万㎡(糸魚川市木地屋)



木地屋川に発生した土石流により被災した大所地区(糸魚川市大所)



大所集会場に濁流が流れ込む(H7.7.11.20:00)



地盤が洗掘され傾く(H7.7.11.22:30)



倒壊(H7.7.12.6:20)

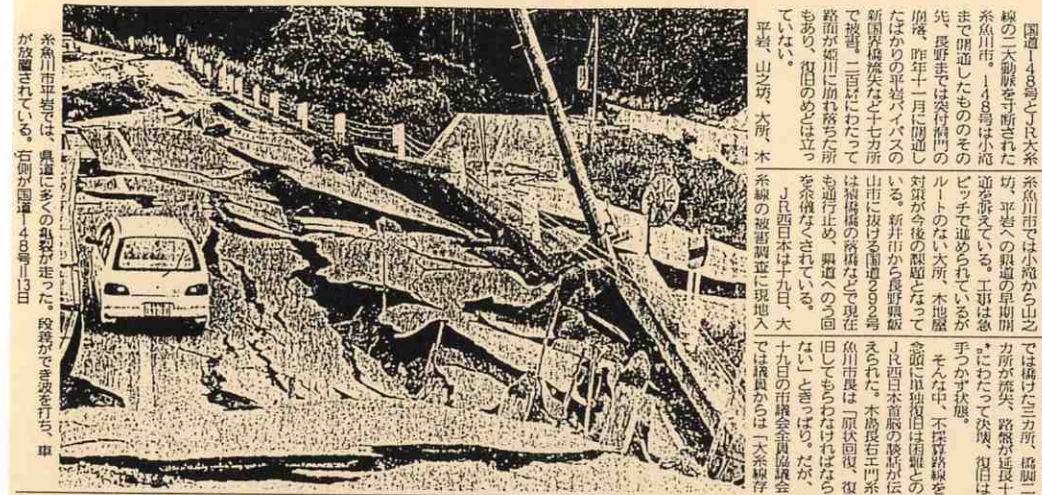
# 国道148号の被災状況



基礎部が洗掘され崩落した国道148号突付洞門(糸魚川市山之坊)

# 姫川の異常埋塞

## 糸魚川市 孤立地区まだ4ヵ所



糸魚川市では、国道148号とJR大糸線の両方を切断された。孤立地区は、平塚、大所、木下、山崎の4ヵ所。平塚では、国道148号の橋脚が崩壊し、大所では、JR大糸線の橋脚が崩壊し、木下では、国道148号の橋脚が崩壊し、山崎では、JR大糸線の橋脚が崩壊した。孤立地区は、平塚、大所、木下、山崎の4ヵ所。平塚では、国道148号の橋脚が崩壊し、大所では、JR大糸線の橋脚が崩壊し、木下では、国道148号の橋脚が崩壊し、山崎では、JR大糸線の橋脚が崩壊した。

## 豪雨の爪跡

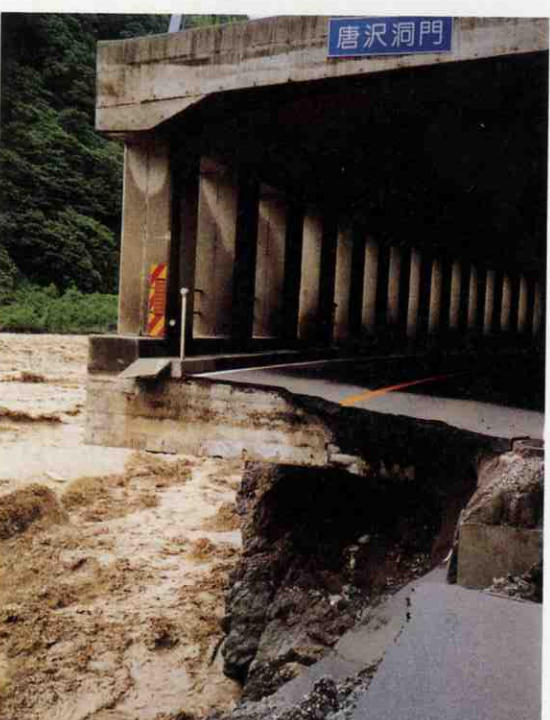
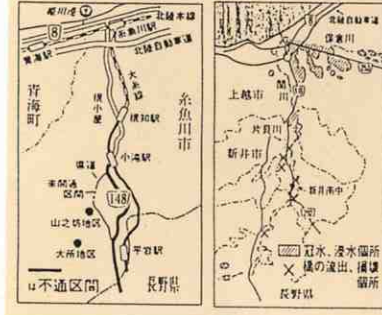
# JR大糸線 存続危うし

7日関川、姫川水害から10日

上越地方を襲った7、8日豪雨から10日経過し、関川、姫川は、暴れ川となり、各地で氾濫が相次ぎ、避難住民も増加している。20日には再び大雨注意報も出され、安心して帰宅する住民は少ない。

### 新井 恐怖消えぬ避難住民 上越 お粗末対応市を批判

糸魚川市の避難住民は、上越市に避難している。上越市は、避難住民の対応が不十分であると批判されている。また、避難住民の生活も支離滅裂な状態に陥っている。上越市は、避難住民の対応を改善し、避難生活を支援する必要があると主張されている。



道路が決壊した国道148号唐沢洞門付近 (糸魚川市根小屋)



出水前の姫川の太平～榎の木状況



平成7年8月1日の同一箇所土砂の異常堆積状況



河道の土砂の異常堆積によりJR大糸線の軌道が埋没 (糸魚川市小滝)

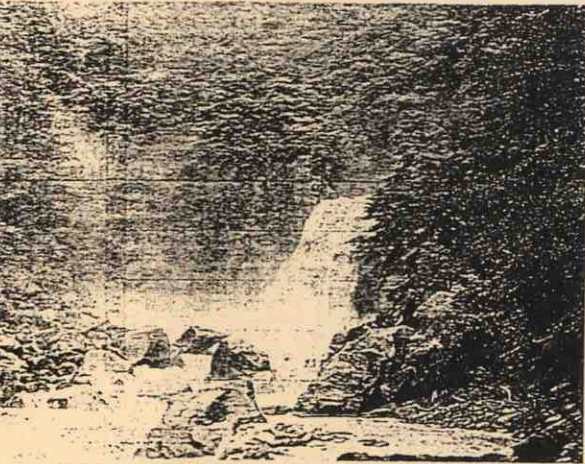
# 観光名所に「痛い土産」

妙高高原

苗名滝

## 遊歩道、巨岩で埋まる

### つり橋や休憩所も流失



景勝地・苗名滝も復旧のめどは立っていない。濁流が落ち、巨岩がゴロゴロしている＝14日、妙高高原町職員撮影

夏の観光地・苗名滝。河を隔ち、遊歩道の両側に遊歩道が通じていた。7・11水害の激しい濁流にさらされた遊歩道は、巨岩や土砂で埋まり、遊歩道が完全に遮断された。遊歩道の両側に遊歩道が通じていた。7・11水害の激しい濁流にさらされた遊歩道は、巨岩や土砂で埋まり、遊歩道が完全に遮断された。遊歩道の両側に遊歩道が通じていた。7・11水害の激しい濁流にさらされた遊歩道は、巨岩や土砂で埋まり、遊歩道が完全に遮断された。

高山植物が生育している火打山の登山道でも崩落が全壊した。倒木や急流が危険な状況だ。



県道杉野沢黒姫(停)線地震滝橋周辺。河幅が3倍になっている(妙高高原町杉野沢)



新井市猿橋地区で破堤



落橋した国道292号猿橋



関川に発生した土石流の直撃を受けた茶屋(妙高高原町杉野沢)

# 関川 新井市除戸～姫川原地区



中学校のプールが流され校舎も危険にさらされた。(新井市除戸)



濁流が田畑、車、人家を押し流す(新井市下濁川)



新井市下濁川地内。落橋した市道学校橋



護岸決壊により人家の基礎部まで崩落(新井市姫川原)



# 関川 月岡地区



関川の渋江川合流点左岸下流が約200mに渡り破堤し、濁流が氾濫(新井市月岡)



破堤し氾濫している状況(新井市月岡)



懸命の応急仮工事を実施した破堤箇所(新井市月岡)

# 関川流域 保倉川・戸野目川・上越市



下源入地区



西福島地区



保倉川や戸野目川などの関川支川でも溢水により住宅や工場などに浸水被害が及んだ(上越市内)

# 他地区の被害



栃尾守門線で法面崩壊し、道路が決壊(守門線村須原)



米山川が溢れ団地が浸水(柿崎町西ノ脇団地)

# 災害関連緊急地すべり対策事業申請箇所



裏山で地すべりが発生し、人家の壁を破損(東頸城郡安塚町武能)



取安川が氾濫し、田畑に被害(川西町原田)



酒座川出水による吸出しで護岸が被災(小千谷市片貝町)



地すべりにより車庫が倒壊(東頸城郡松代町千年)

一瞬にして、町が村が濁流に飲まれた

# 平成7年7・11水害

被害状況調査レポート



表紙

土石流にえぐりとられた国道148号とJR大糸線  
橋梁はそのままで土砂に埋まった  
赤い屋根は全壊したホテル(糸魚川市平岩)

平成7年7月  
新潟県土木部